

精華地域学校規模適正化検討協議会ニュース

第3号

平成26年7月
教育政策課

第3回協議会が7月11日(金)に開催されました。

推進協議会から検討協議会への引継ぎについて

精華地域学校規模適正化推進協議会は、平成20年11月28日に第1回推進協議会を、平成21年10月19日に作業部会を、それぞれ一度開催いただいておりましたが、市教委が準備した資料の表現に配慮を欠く部分があることなどから、継続開催が困難となっております。

このことから、精華地域学校規模適正化推進協議会の課題を整理し、継続を要する課題の検討については、現在設置していただきました精華地域学校規模適正化検討協議会へ引き継ぐことが確認されました。

第1回作業部会で話し合われた報告が行われました。(概要)

保護者代表作業部会

- ・作業部会には協議会委員だけでなく、保護者も参加して開催されました。
- ・「いつ、統合再編を行うのか。」「統合再編に向けてのタイムスケジュールを示してほしい。」「統合再編をすることに賛成も反対もない。どうやっていくのかが、分からない。」「統合再編の舵取りは誰が行っていくのか。」「帯解小学校から169号線に出る三叉路に信号機をつけてほしい。」「保護者も検討協議会に参加したいので、検討してほしい。」という質問や意見が出ました。

学校関係者作業部会

- ・統合再編を前向きに進める前提で話し合いが行われました。
- ・統合することのメリットとして、「都南中学校進学後も帯解小学校の子どもたちと一緒に、子どもたちの気持ちが高くなると思う」「バンビーホームが利用できる」「スクールバスで安心安全に学校へ行くことができる」などの意見や、統合再編をよい状況で進めるために、「スクールバスを町ごとに停車する」「精華小と帯解小の交流会を行う」「帯解地域の方にフィフティフィフティの気持ちをもっていただきたい」「校名等は検討してほしい」「精華小学校の先生と一緒に統合校へ行ってほしい」という意見が出ました。

地域代表作業部会

- ・スクールバスとコミュニティバスの問題、子どもの教育環境だけでなく行政の財政状況もあること、跡地利用や分校についての意見が出ました。
- ・「自治会として、統合再編を前向きに進めていく。」ことで合意されました。

各作業部会の報告を受けて、統合再編に向けて前向きに進めていくことが確認されました。

統合再編について

奈良市教育委員会は、右のスケジュールのとおり、平成 27 年 4 月 1 日に精華小学校と帯解小学校とを統合再編し、統合小学校をスタートさせたいと考えています。

地域の課題や統合小学校でよりよい教育を行うための課題などについては、それぞれの学校が集まった合同部会等を通じて協議をしていただき、整った教育環境のもと、子どもたちが笑顔で 4 月からスタートできるように準備を進める予定です。



統合再編について、次のご意見やご質問をいただきました。(概要)

(→市教委からの回答)

- 統合の時期について、来年の 4 月という期限は厳しいという気がする。
 - 統合再編に向けていろいろな課題が出てきているので、一つひとつははっきりさせて整理していかなければならない。
 - 平成 27 年 4 月に向かって、いろいろなことを決めていくのがいいと思います。
 - 保護者代表の作業部会でいろいろと質問したが、アンケート内容も踏まえて回答をいただきたい。
- アンケート結果から、保護者の皆様は「人間関係の広がり」への期待があると考えています。統合小学校であってもきめ細やかな指導ができると考えています。また、精華小のよさ、帯解小のよさを取り入れながら統合小で進めていくことができるようにしていきます。そして、保護者の皆様の一番の不安、「大人数の中に子どもが埋没してしまわないか」「いじめられないか」「うまく適応できるか」については、統合前に交流学習をしたり、精華小の子どもが不安なく学習できるよう両校で話し合ったりしていきます。統合後に向けては、先生の加配であったり、精華小学校の先生も一緒に入っていただいたりできるように県教委に強く要望していきます。スクールバスについては、米谷町を起点とし、高樋町の時計がある三差路から、菩提山町を經由して、帯解小へのルートを考えています。詳しい運行時刻や停車場所については協議会の中でご要望を伺いながら検討していきます。
- 保護者が検討協議会に参加することを認めてほしい。
- ・検討協議会で認められました。

第 4 回学校規模適正化検討協議会
は、8 月 11 (月) に開催されます。

お問い合わせ先
奈良市教育委員会事務局教育政策課
TEL 34-5386